

平成 29 年度 伊勢市防災会議

日時：平成 30 年 3 月 29 日（木）14:15～15:30

場所：伊勢市防災センター 4 階 防災多目的ホール

1 開会

(事務局)

本日はご多忙の所、お集まりいただきありがとうございます。ただ今から、平成 29 年度伊勢市防災会議を開催いたします。

【資料の有無の確認】

それでは初めに、伊勢市防災会議条例第 3 条第 2 項の規定により本会議の会長であります市長からご挨拶を申し上げます。

(会長)

皆さんこんにちは。本日は大変お忙しい中、伊勢市防災会議の開催にあたりまして、ご出席いただき誠にありがとうございます。また日頃、防災行政の他、施設全般に対して、それぞれの立場でご指導ご協力賜っておりますことに感謝申し上げます。

昨年 10 月の台風第 21 号では、アメダス小俣観測所にて 48 時間雨量で 539 ミリを観測し、昭和 54 年からの観測史上 1 位の値を大きく更新する雨が降りました。その結果、市内で 1,800 棟を超える浸水被害が発生しております。被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、国、県、関係機関の皆様の活動に心より感謝申し上げます。現在、台風第 21 号の教訓や課題を市役所全体で共有し、改善に取り組んでいるところです。本災害につきましては、災害発生からの経過を残すため、記録誌の作成も行っております。完成後は伊勢市ホームページなどでお知らせさせていただきます。

また、伊勢市では昨年度末に策定した業務継続計画（BCP）に基づいて業務継続マネジメント（BCM）にも取り組んでおります。計画を策定して完了とするのではなく、地域住民や関係機関の皆様にお力添えをいただきながら、平常時から防災・減災に取り組んでいくことが大切であると感じております。

次に、いつ発生してもおかしくないと言われている南海トラフ地震についてです。インターネットやスマートフォンの防災アプリを見ていると日ごろから太平洋沖で小規模の地震が頻繁に発生していることがわかります。今後も皆様と共に対策を進めていきたいと思っております。

今年度の地域防災計画の修正につきましては、一つ目に平成 29 年台風第 21 号の教訓、課題の反映、二つ目に防災基本計画、三重県地域防災計画の改訂に伴う修正、三つ目にその他、最近の施策の進展等を踏まえた修正となっております。どうぞよろしく願いいたします。

2 議案

「議案第 1 号 地域防災計画の修正について」

(会長)

それでは進めさせていただきます。まず議案第 1 号伊勢市地域防災計画の修正について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

【資料1】説明

(会長)

それでは先程の説明について、ご意見ご質問等がございますか。

(ご意見ご質問なし)

原案どおり承認の方は、挙手をお願いいたします。

(挙手多数)

ありがとうございました。挙手多数ということで、承認とさせていただきます。

「議案第2号 伊勢市水防計画の修正について」

(会長)

続いて議案第2号伊勢市水防計画の修正について説明をお願いします。

(事務局)

【資料2】説明

(会長)

それでは議案第2号の説明について、ご質問等がございますか。

(委員)

要配慮者利用施設の避難確保計画及び避難訓練の義務化についてですが、津市では計画の策定等が進んでいるとテレビやニュースで聞いたことがあるのですが、伊勢市の現状について教えてください。

(事務局)

現在は、浸水想定区域内にある要配慮者利用施設の浸水深を調査し、対象の施設に避難確保計画の作成や避難訓練の実施について通知を出す段階です。

(委員)

全国的に見てもまだまだ進んでいない内容だと思いますが、伊勢市の取り組みが先進事例となるように進めてください。

(会長)

他よろしいでしょうか。それでは議案第2号について、お諮りをいたします。

承認の方は、挙手をお願いいたします。

(挙手多数)

ありがとうございました。挙手多数と認めて、承認とさせていただきます。

本日、ご審議頂いた議案第2号につきましては、伊勢市水防計画を変更するよう水防管理団体へ答申をしたいと存じます。

3 報告事項

(1) 平成29年台風第21号について

(事務局)

平成29年台風第21号について説明

(会長)

この件につきまして、ご意見ご質問やその他台風第21号への対応につきまして、共有しておきたいこと等がございますか。

(委員)

道路等の冠水状況の情報発信についてですが、市民にリアルタイムで情報の共有ができれば、危険箇所の把握ができ、避難時に危険な状況になったり、車両等が水没したりすることが減るのではないのでしょうか。

(事務局)

河川の状況などはインターネットで確認することができ、必要に応じて市民の皆様にお知らせができたと思っておりますが、道路等の冠水状況の情報発信につきましては、職員からも台風第21号の課題事項として挙がっております。今後は、SNSを活用するなどして、リアルタイムな情報発信の方法を検討していきたいと思っております。

(会長)

台風第21号では、市内で400台から500台の車両が浸水被害を受けたと聞いております。当日は国政選挙があったことも影響し、職員の多くも被害を受けました。浸水しやすい場所や道路等の冠水状況はツールを用いてリアルタイムに共有できればと感じております。

その他、ご意見等よろしかったでしょうか。

(委員)

台風の時の市からののお知らせは、普段あまり馴染みのない番号などで表示されることがあり、市民にはわかりづらいことがあります。市民にもわかりやすい場所でお知らせをすることはできないのでしょうか。

(事務局)

視覚的にわかりやすく地図を用いた情報の発信やなど、市民の方に伝わりやすいお知らせの方法を今後検討していきたいと思っております。

(会長)

その他よろしかったでしょうか。

災害の記憶はどうしても時間の経過によって薄れてしまいます。来年度の出水期までに取り組むべき課題はしっかりと改善に向けて取り組んでいきたいと思っております。

(2) 伊勢市の主な事業概要について

(事務局)

伊勢市の主な事業概要について説明

(会長)

この件につきまして、ご意見ご質問等はございますか。

(ご意見ご質問なし)

4 伊勢市防災会議構成機関の災害時の対応

(1) 三重河川国道事務所：平成29年10月22日～23日 台風第21号における三重四川の出水状況について【資料3】

(2) 中部電力：当社の防災体制【資料4】

5 その他

6 閉 会

(会長)

それでは長時間にわたりましたが、本日の議事に関係なくご発言ご質問があれば伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員)

勢田川のポンプ場は昭和 49 年の七夕豪雨の後に整備された施設であると思いますが、浸水被害を軽減させる目的で整備されたポンプ場があるにも関わらず、台風第 21 号でも同じように大きな被害が発生した主な原因はなんでしょうか。

(会長)

七夕豪雨と平成 29 年台風第 21 号での市内の浸水被害の件数を比較しますと、七夕豪雨では約 13,000 棟、台風第 21 号では約 1,800 棟でした。また浸水被害が発生した原因の一つとして、七夕豪雨の際には田んぼであった場所に住宅が建つなど、市内全体の貯水機能が低下していることも考えられます。今回の被害を受けて必要な改修などを国や県と連携しながら進めていきたいと思えます。

その他よろしかったでしょうか。

もし何かありましたら担当課の方へご連絡いただければと思います。

それではこれもちまして、平成 29 年度の伊勢市防災会議を閉会させていただきます。本日はご多忙のところお時間を頂戴いたしましてありがとうございます。